



農林水産省支援 平成22年度 農商工等連携促進対策中央支援事業

6次産業化推進に向けたコーディネーター人材育成研修～連続開催(東京)～

# <第1回> 連携による 食をとおした地域活性化

～SWOT分析等を活用した地域戦略の構築～

日時：平成22年10月28日(木)

13:00～17:00

場所：日本橋プラザ 第2,3会議室

(東京都中央区日本橋2-3-4)

## 【研修の狙い】

現在、食をとおした地域活性化等を目的とし、農商工連携や食農連携ならびに、これからの6次産業化など、『連携』をキーワードとした多くの取組みが各地域を単位に推進されています。これらの多くは、連携構築を進める生産者や事業者の役割に加え、その活動をフォローし、連携の枠組を差配するコーディネーターの手腕により、成果達成が大きく左右されると思われます。

これら現地のコーディネーターには、地域における食農の現状及びその地域を取巻く周辺の概況を理解し、戦略的な視点のもと、連携構築の推進に向けた活動が必要であるといえます。

この度、(社)食品需給研究センターでは、農林水産省の平成22年度「農商工等連携促進対策中央支援事業」の一環として、食をとおした地域活性化に取り組むコーディネーターを対象に、全5回のシリーズ研修を行います。

研修第1回目は、「連携による食をとおした地域活性化」をテーマとし、地域ポテンシャルを把握し、戦略策定の手法を学ぶための研修を行います。研修では、(1)講義により、「なぜ戦略が必要か?」、「事例を用いたSWOT分析」を解説するとともに、(2)グループワークによりSWOTの実践研修を行います。

## ■実践研修の流れ



## 【当日のプログラム】

開会 13:00

講義 13:15～14:00

### (1)連携による 食をとおした地域活性化

～SWOT分析等を活用した地域戦略の構築～

【講師】(社)食品需給研究センター

主任研究員 長谷川 潤一



全国の各地域で地域連携による食料産業の推進に向けた戦略構想書を作成した主担当が、「連携による食をとおした地域活性化」に向けた地域戦略ビジョン構築のためのポイントをお伝えします。

<休憩> 14:00～14:10

実践研修 14:10～16:45

### (2)地域の食料産業を 対象にしたSWOT分析の実践

～ポテンシャル抽出と現状整理～

研修参加者が自らの知識や意見を述べ、主体的に地域の食料産業について話し合い、現状を整理し、分析方法を学ぶ場となるよう、グループワーク形式での実践研修を行います。

グループワークでは、1グループを5～6名程度とし、関東で食農連携の取り組みをおこなう3地域の事例をもとに、SWOT分析を活用した地域のポテンシャル抽出と現状整理を行います。

<質疑応答> 16:45～17:00

閉会 17:00



主催：(社)食品需給研究センター

後援：関東農政局

# ■実践研修進行方法

## 事前準備



情報収集

### ■情報収集

全国の各地域で作成した地域連携による食品産業の推進に向けた戦略構想書((社)食品需給研究センター実施主体)では、連携推進に向けた課題分析にSWOT分析を活用しています。該当箇所を事前にご覧いただくことで、事前にイメージをつかみ、より研修内容の理解を深めることができます。食農連携コーディネーターバンクHPの育成教材のご紹介「戦略構想の作成」をご参照ください。

URL:<http://www.fmric.or.jp/facobank/kenshu/kyozai.html>



一例として...長野県版:P18 ~P24参照 ↑

## 研修当日

進行説明

### ■進行説明

講師より、研修目的・ねらい、研修の進め方、グループワークでの発言時のルールなどの説明を行います。

グループワーク (SWOT分析)

### ■事例説明

関東で食農連携の取り組みをおこなう3地域の事例をもとに、分科会形式でSWOT分析をおこないます。グループワークを行うに際し、まずは地域の関係者よりSWOT分析の材料となる情報を得ます。

### ■グループワーク(SWOT分析)

- ①マトリックス表を活用し、地域の食料産業の強み(S)、弱み(W)、県外食料産業に対する機会(O)、脅威(T)に関し、グループ内の全員で、意見を出し合います。
- ②グループリーダーの進行のもと、強み(S)、弱み(W)、機会(O)、脅威(T)ごとに近い意見のものをグルーピングします。
- ③全体を見返しての不足部分の付け足し、S、W、O、Tの再確認など、グループ内での取りまとめを行います。

**【地域の食料産業における戦略を考える上での基本情報の整理ができます】**

グループ発表

### ■グループ発表

各チームから取りまとめた内容の紹介を行います。

まとめ

### ■まとめ

グループリーダー、進行役によるコメント、総括

**【食農連携に必要な地域ポテンシャルの整理、分析手法がわかります】**



## ■講師の紹介：長谷川 潤一（はせがわ じゅんいち）

### <対応可能なコーディネート業務>

#### ○枠組推進のためのコーディネート

1. 地域戦略構想書の作成支援
2. 地域連携に向けた各セクター間における合意形成のための意見調整
3. 現地のニーズに即した各種支援業務の紹介と採択に向けた戦略練り

#### ○事業者等へのコーディネート

1. 国等が実施する支援事業への課題提案に向けた申請書作成支援
2. 新商品開発、新技術開発等に必要の有識者・専門家・研究者の紹介

### <食農連携や地域活性化に対する想い>

地域における食は、単に「地域の原料を使って製品を作りました」という単発的な取り組みではなく、戦略に基づき、広範で重層的な取り組みが、今、求められていると思います。「地域のための食をとおして何ができるのか?」といった視点にたち、ビジョンや戦略に基づく食農連携や農商工連携の推進に向け、できる限りのお手伝いをさせていただきます。

※詳しくは、食農連携コーディネーターバンクをご覧ください→

<http://www.fmric.or.jp/facobank/index.html>

## ■研修当日のお願い

- ・研修の様子を写真に撮らせていただき、事業報告書やホームページでの報告などに掲載させていただきますので、ご了承下さい
- ・研修終了後、アンケートのご提出にご協力をお願いします。

【お問合せ先】 〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-3 農業技術会館3F

社団法人 食品需給研究センター 担当:調査研究部 松崎(まつざき)、藤科(ふじしな)、塚原(つかはら)

TEL:03(5567)1991 FAX:03(5567)1960 E-Mail:cluster@fmric.or.jp